

大崎市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問い合わせください。

情報の利用停止を希望された場合でも、治療に影響が出ることはございませんので、安心してお申し出ください。

NO.

研究課題名	進行胃癌の DIC 併発に関連する遺伝子発現異常の網羅的探索研究
当院の研究責任者	所 属 : 腫瘍内科 氏 名 : 坂本 康寛
他の研究機関および 各施設の研究責任者	東北大学病院がんセンター 助教 大内 康太
本研究の目的	本研究の目的は、以下の 2 点です。 ① 播種性血管内凝固症候群 (DIC) を併発した進行胃癌症例と DIC を併発しなかった進行胃癌症例における網羅的遺伝子発現状態を比較解析することで、DIC 併発に関わる遺伝子発現異常を明らかにする。 ② ①で得られた遺伝子発現異常について、独立した症例群を用いて検証的な後方視的解析を行い、DIC 併発のリスクを予想するバイオマーカーとしての有用性を検討する。
対象者	対象は 20 歳以上の進行再発胃癌の方で、2009 年 11 月から 2019 年 3 月の期間中に当院及び共同研究施設で化学療法が施行され、原発巣のホルマリン固定パラフィン包埋組織が入手可能である方。
研究実施期間	倫理審査委員会承認後 ～ 西暦 2022 年 3 月 31 日
調査データ 該当期間	西暦 2009 年 11 月 1 日 ～ 西暦 2019 年 3 月 31 日
研究の方法	胃癌の手術時または生検時に採取した組織検体を収集し、RNA を抽出し遺伝子発現状態を解析します。播種性血管内凝固症候群を併発し

（使用する試料等）	た方と併発しなかった方の遺伝子発現状態を比較することで、播種性血管内凝固症候群の併発リスクと関連する遺伝子発現異常を探索します。
使用する試料等	情報：年齢、病歴、治療歴、腫瘍に関する情報 等 試料：生検時に採取した胃癌の生検組織検体もしくは手術検体
試料情報の他の研究機関への提供および提供方法	提供先：東北大学病院がんセンター 助教 大内 康太 提供方法：郵送・宅配・電子的配信（e-mail, web 等）
個人情報の取り扱い	研究対象者のデータや検体は匿名化し利用する。
本研究の資金源（利益相反）	文部科学省 科学研究費助成事業 「若手研究」支援金
お問い合わせ先 （照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先）	住所：大崎市古川穂波三丁目8番1号 電話： 0229-23-3311 研究責任者 大崎市民病院 腫瘍内科 科長 坂本 康寛
備考	